

---

# あなたの信ずる神はただただ神でありますか？

マッドステファニー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

あなたの信ずる神はただただ神でありますか？

### 【Nコード】

N9342Y

### 【作者名】

マッドステファニー

### 【あらすじ】

いつもと変わらない日常、何も変わらない世界何も変えられない自分

僕はそんな全てに苛立ちを感じていた、しかし何もできずに日々は過ぎる

そんなある日仲の良い友達と些細な事で喧嘩になってしまう  
その日を境に僕は僕の取り巻く世界の裏側の醜さ残酷さを知ってしまう

1 / あなたの心にはいくつの花が咲きますか？（前書き）

これは誰もが感じている事だと思います

あなたを取り巻く世界・・・貴方はどこまで信じる

ことができますか？それとも自分や周りに嘘をついて

信じているフリをしていますか？

1 / あなたの心にはいくつの花が咲きますか？

うーん、「この宅ディクスアドマンター時マジ半端ねえ」

これた いや凄いスピーだわマジに！

黒いインコだ！逃げ出したようにあの力飼い月まで死んだ魚は  
グルリ周って赤いインコが遠くを見つめるミドリ目

電話を取り出しもう一度かけることにした、秋の生暖かい風が  
僕の不安をいっそう強いものにする、出てくれ！

半分苛立ちにもたた不安な感情でコール音を聞き通付けるのは

やはり

黒い階段を降りるのは止めようよ！

そついいながら私の袖をグイグイ少女は引つ張ったが

「はい？」五度目のコール音を聞いた時だろうか

私はやはりここを降りなければならぬ

ここを降りれば私の「コレ」は終わり開放されるのだ

そしてここから放たれた月があなたの心に届きますように  
それはここからでしか始まらない、あなたを更正させる

「お前なー？マジデイマゴロコウムインシケンナンカtourut  
o o m o t t e n n n n m o k a

？

「zukケン資格すらあやうんちゃんうか???

行かないで！！少女は泣き崩れ私に追いつがる！！

「バルカンセレクター！」彼の掛け声とともに

一世に世に飛び出たryプリアたちが無限に近いであろう数の

ケおっパンをひっくり返してはそれをまためくり上げ

火ッ来る！

思わずのけぞってそれを回避え？重ねの煮「？そんなのつくってせ  
んよ？

電話を持つ手を左手に変えて僕は首をかしげた・・・

あなたに零れ落ちた水をどうぞ飲み干そう（前書き）

些細な事で友達と喧嘩してしまい。一人公園でぶらつく主人公は偶然にもその友達を公園で見つける。

しかしいつもとは違う様子の友達にきずき影から見張る事にしたいつもはつるまないはずの不良たちが現れ・・・

あなたに零れ落ちた水をどうぞ飲み干そう

！！！！つて訳で  
これから

うーん、……見渡す限りのもりの中そろそろ暗くなってきた  
このような時は、勇者であろうが農家であろうが、枯れ木を集め  
焚き火をするのだ。

それは自分達の存在を示す役割もあるし何より日はモンスターや  
獣をとっぎける。

よっし！そろそろ集めだしてキャンプをするか。

リーダーであるサムソンが暮れ行く日を遠い目で見ながら  
パーティー聞こえるか聞こえないかでの小さい声でつぶやいた

そうね、そろそろ……準備を……時間もかかるから……  
白一色の長いローブを着てフードを深くかぶった怪しげな  
女もそれに賛同した

残りの頭や顔に包帯を巻いた男もやたらに高いテンションで  
「ひゃうー！今日の当番はオレッチだー」と飛び跳ねていた

三人は手ごころな場所を見つけると  
カバンを下ろしてそれぞれ決めた役割の仕事に取り掛かる  
リーダーはイスになりそうな倒れ木や薪を探してちようど  
火を起こす場所を中心に三角形になるように配置していく

フードはなにやら怪しげな呪文を杭に吹き込み地面に突き刺していく

本人曰く魔よけや不運を遠ざけるようだが・・・  
これではこの様子をみた普通の人も遠ざけそうだ・・・

おお！sこあさはすばらしい手にと手を握る！

やはり想像以上の出来だ

「やはりあの嬢湯悪がよかったなこれで誇示円と様も喜んでイラだ  
つて下さる」

しかしまあお前は電話に出んよなな！！

手元にあつたお絞りを叩きつけて、ナナミは怒った！  
投げられた老人は・・・！！

なん等事でしょう！

あの狭かった風呂敷がまるで東京ドームのように広がっているでは  
ありませんか

ぶつかった石は見事兵士の銃を握る手に当たった！

一瞬ひるんで兵士の銃口は目標とはちう場所をねらう！  
その一瞬でいい！

寿司はそう！鮮度が命！これから行われる伝説は刹那のもとより離  
れる

刃なる打点死の舞輝く光は無限の楽園をつかさどる

運命の品時計！！

届け僕の願い！！！！

それ

すなわち

無限の侯爵進化無限回路!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9342y/>

---

あなたの信ずる神はただただ神でありますか？

2011年11月28日14時51分発行